

第113回 定時株主総会

平成29年9月28日

株式会社 アルバック

議事運営についての お願い

出席株主数 及び 議決権数のご報告

会計監査人の監査報告書（連結計算書類）

招集ご通知34～35ページをご覧ください。

会計監査人の監査報告書（計算書類）

招集ご通知36～37ページをご覧ください。

監査役会の監査報告書

招集ご通知38～39ページをご覧ください。

第113期事業報告、連結計算書類 及び計算書類の内容のご報告

数値：億円単位
(小数点以下は四捨五入)

事業報告

1. 企業集団の現況

(1) 当事業年度の事業の状況

①事業の経過及び成果

経済の状況

招集ご通知3ページ

▶ 日本

◆設備投資や個人消費、輸出が持ち直し、
緩やかな回復基調が続いてまいりました。

▶ 米国

◆設備投資や住宅投資の増加などにより、
景気の回復が続いてまいりました。

①事業の経過及び成果

経済の状況

▶ 欧州

- ◆消費が増加し、機械設備投資に持ち直しの動きが見られるなど、景気は緩やかに回復してまいりました。

▶ 中国

- ◆各種政策効果もあり、景気に持ち直しの動きが見られました。

①事業の経過及び成果

市場環境

▶エレクトロニクス市場

◆スマートフォン販売台数の伸びの低下は見られるものの、モバイル機器などの高機能化・薄型化に向けた動きは継続し、半導体や電子部品の需要は概ね堅調に推移しました。

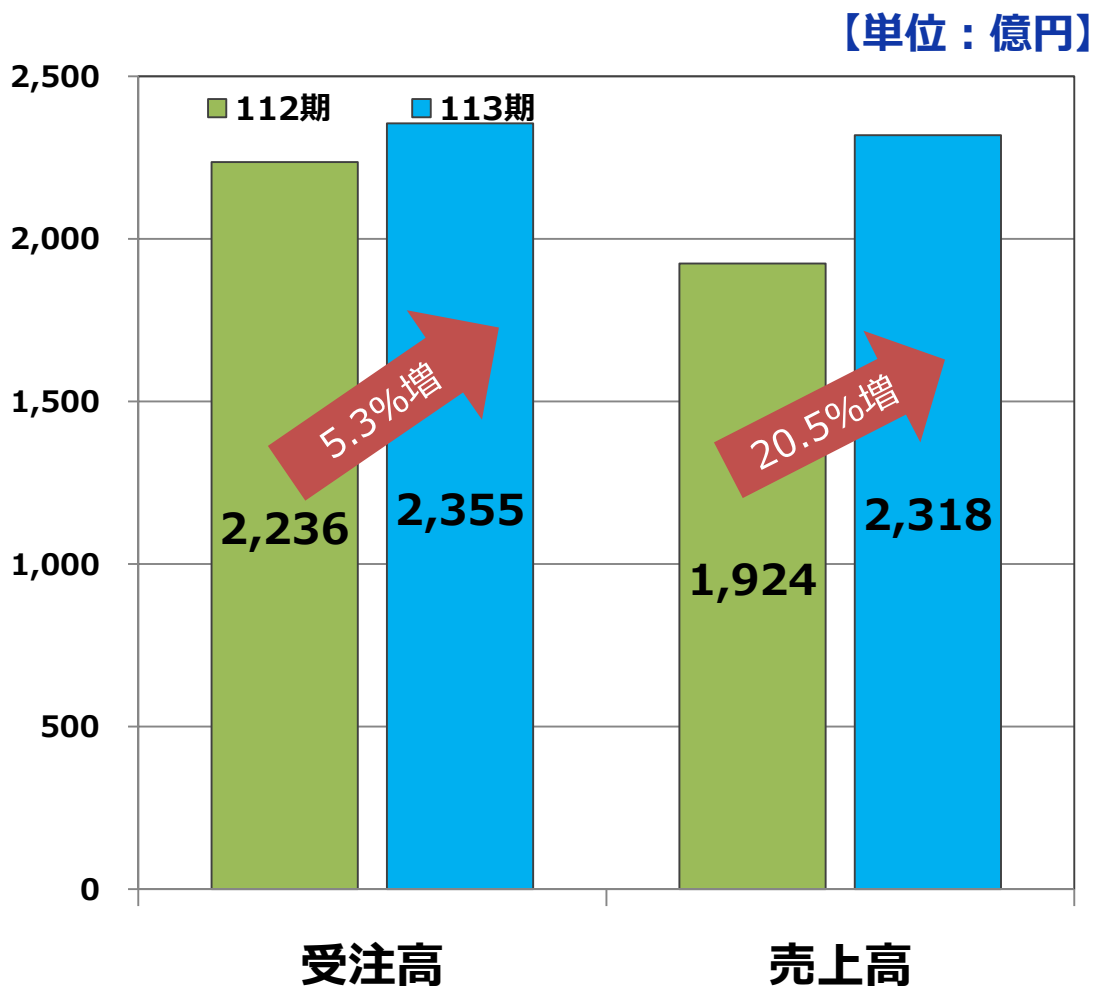
▶フラットパネルディスプレイ製造装置

◆モバイル端末向け有機EL製造装置やテレビ向け大型液晶ディスプレイ製造装置の設備投資が、引き続き活発な動きを示しております。



①事業の経過及び成果

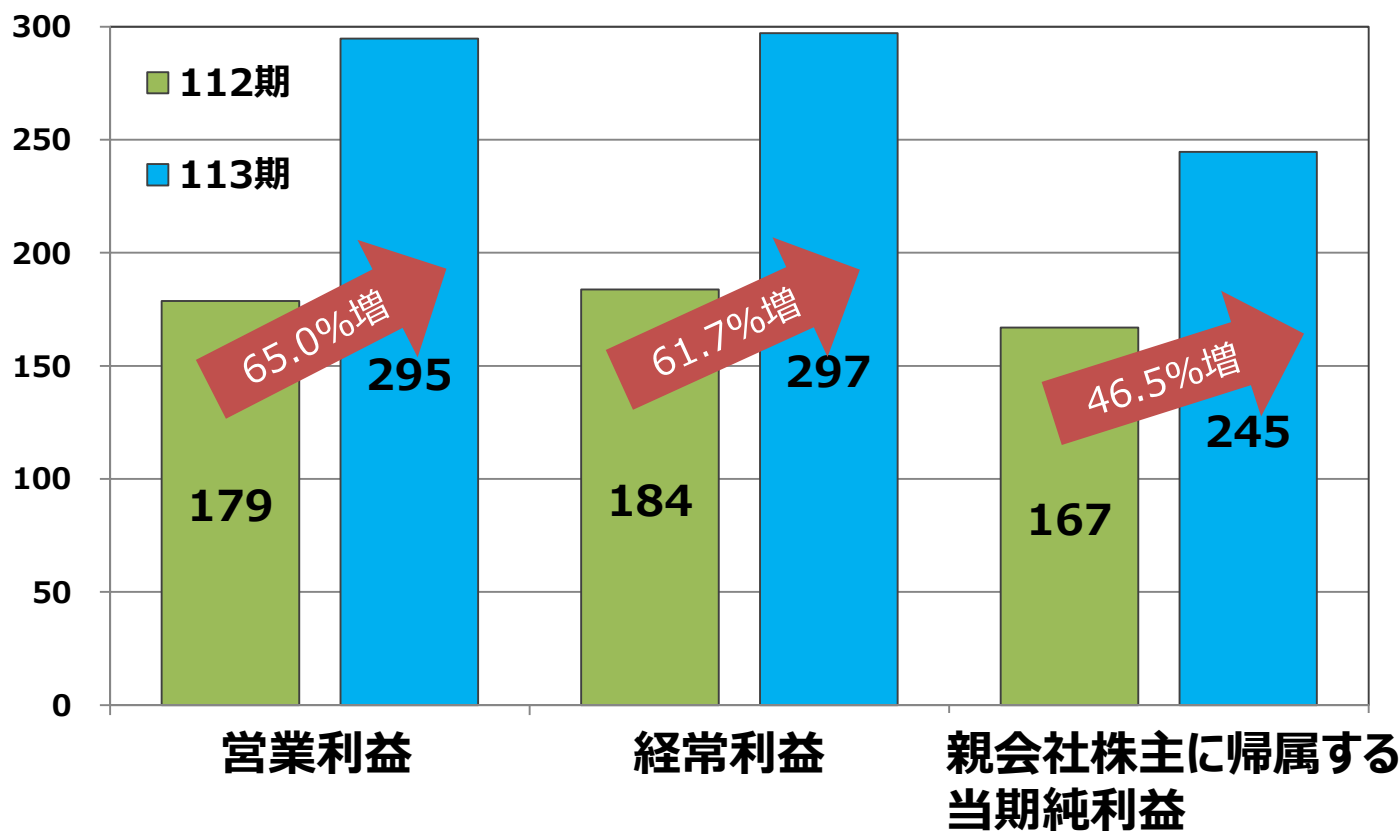
第113期業績（連結）



①事業の経過及び成果

第113期業績（連結）

【単位：億円】



いずれも当初計画を上回り、2年連続過去最高益を更新

①事業の経過及び成果

事業セグメント別実績

招集ご通知4ページ

【単位：億円】

事業セグメント	当期受注高		当期売上高		期末受注残高	
		前期比 (%)		前期比 (%)		前期比 (%)
真空機器事業	2,051	107.2	2,006	125.0	1,011	106.0
真空応用事業	303	93.9	312	97.6	52	88.2
合計	2,355	105.3	2,318	120.5	1,063	105.0

【百万円単位で計算後、四捨五入】

①事業の経過及び成果

真空機器事業（１）

招集ご通知**5ページ**

■ FPD及びPV製造装置

- ▶受注高は中小型液晶ディスプレイ製造装置が減少したものの、有機 E L 製造装置やテレビ向け大型液晶ディスプレイ製造装置が高水準で推移し、前期を上回りました。
- ▶売上高は有機 E L 製造装置に加えてテレビ向け大型液晶ディスプレイ製造装置が増加し、前期を大幅に上回りました。



液晶ディスプレイ製造装置
(スパッタリング装置)



有機EL製造装置
(真空蒸着装置)

①事業の経過及び成果

真空機器事業（２）

■ 半導体及び電子部品製造装置

- ▶ 半導体関連は、メモリ向け投資の拡大に伴い、スパッタリング装置や自然酸化膜除去装置が増加し、電子部品関連は、モバイル機器向け高機能デバイス製造装置などが堅調に推移し、前期を上回る受注高、売上高となりました。



半導体製造装置
（スパッタリング装置）



MEMSデバイス成膜装置
（スパッタリング装置）

①事業の経過及び成果

真空機器事業（３）

■ コンポーネント

- ▶ F P D、半導体、電子部品業界や自動車関連向けを中心に受注高、売上高ともに前期を上回りました。
- ▶ 特に売上高は、有機 E L 製造装置に搭載するクライオポンプが大きく寄与しました。



ドライポンプ



クライオポンプ



小型真空ポンプ

①事業の経過及び成果

真空機器事業（４）

■ 一般産業用装置

- ▶自動車部品製造用真空熱処理炉などを中心に、受注高、売上高ともに前期を上回りました。



自動車部品用真空熱処理炉



ヘリウム
リークテスト装置



凍結真空乾燥装置

①事業の経過及び成果

事業セグメント別実績 (真空機器事業)

【単位：億円】

事業セグメント	当期受注高		当期売上高		当期営業利益		期末受注残高	
		前期比 (%)		前期比 (%)		前期比 (%)		前期比 (%)
真空機器事業	2,051	107.2	2,006	125.0	268	179.5	1,011	106.0
真空応用事業	303	93.9	312	97.6	26	89.7	52	88.2
合計	2,355	105.3	2,318	120.5	295	165.0	1,063	105.0

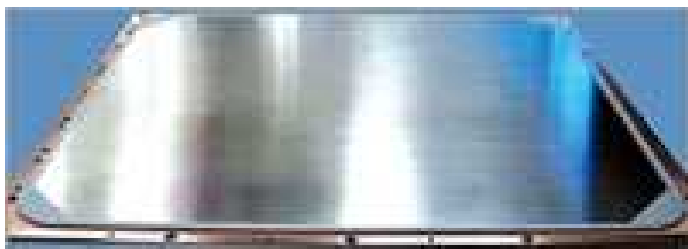
【百万円単位で計算後、四捨五入】

①事業の経過及び成果

真空応用事業（１）

■ 材料

- ▶主に液晶ディスプレイ用スパッタリングターゲットを中心に受注、売上を計上いたしましたが、価格競争の激化の影響を受け、ともに前期を下回りました。



液晶ディスプレイ用
スパッタリングターゲット材料



半導体用
スパッタリングターゲット材料

①事業の経過及び成果

真空応用事業（２）

招集ご通知**6ページ**

■ その他

▶マスクブランクス関連

高精細、高機能ディスプレイパネルや車載及び産業用半導体需要の増加を受け、概ね堅調に推移しました。

▶分析機器関連

受注高、売上高とも、全般的に低調な結果となりました。



マスクブランクス

①事業の経過及び成果

事業セグメント別実績 (真空応用事業)

【単位：億円】

事業セグメント	当期受注高		当期売上高		当期営業利益		期末受注残高	
		前期比 (%)		前期比 (%)		前期比 (%)		前期比 (%)
真空機器事業	2,051	107.2	2,006	125.0	268	179.5	1,011	106.0
真空応用事業	303	93.9	312	97.6	26	89.7	52	88.2
合計	2,355	105.3	2,318	120.5	295	165.0	1,063	105.0

【百万円単位で計算後、四捨五入】

②設備投資の状況（主なもの）

招集ご通知6ページ

設備投資の総額：83億円

主な設備投資の内容	会社名
半導体及び電子部品製造装置事業、 FPD及びPV製造装置事業の 評価用機械装置や研究開発用機械装置等	(株)アルバック

③資金調達の状況

■ 資金調達

当連結会計年度は、新株式の発行等による
資金調達は行っておりません。

■ 借入金の総額

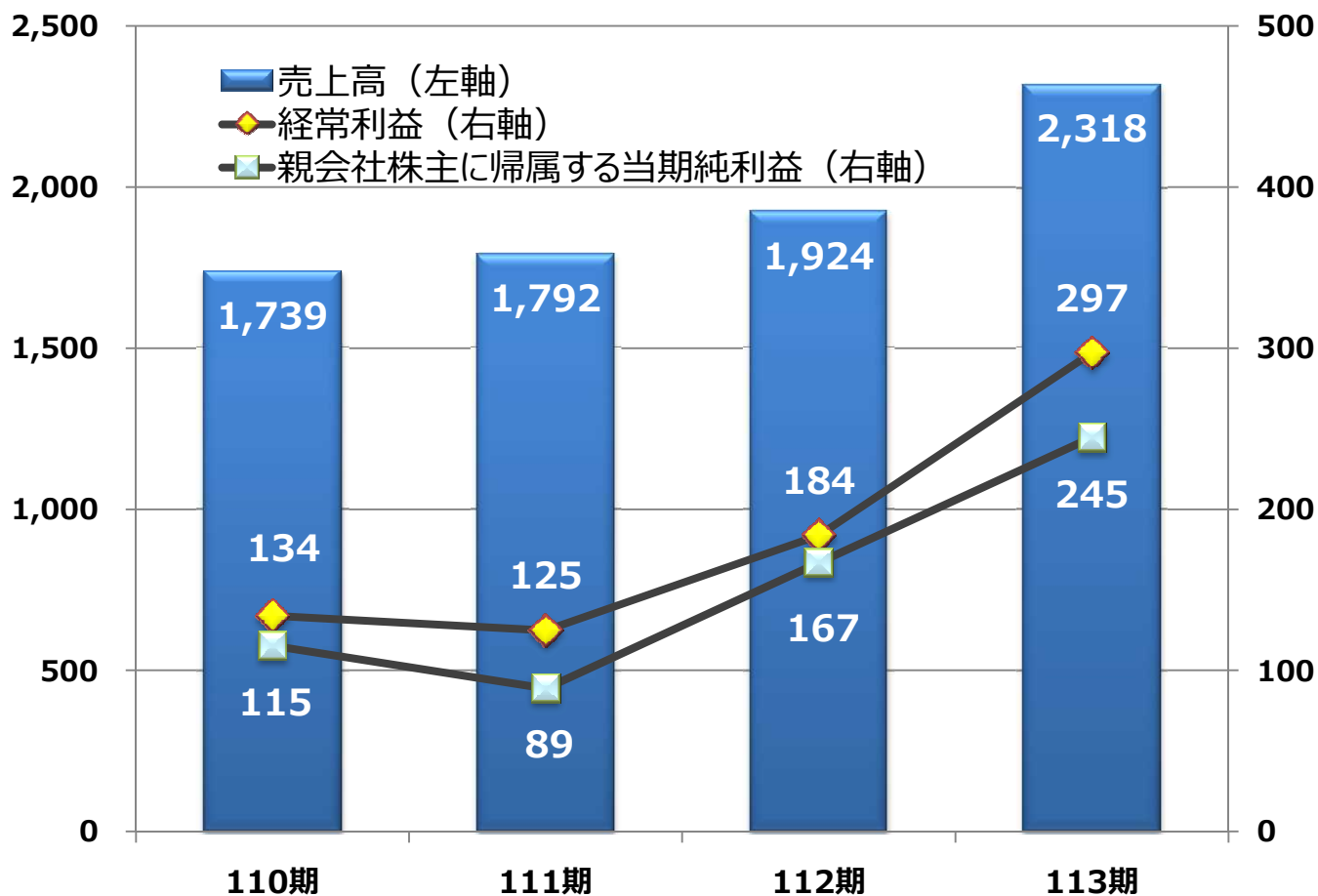
総額 427億円

(前連結会計年度末比約200億円減少)

(2) 直前3事業年度の財産及び損益の状況（連結）

招集ご通知7ページ

【単位：億円】



招集ご通知8～10ページ

(3) 重要な子会社等の状況

招集ご通知11ページ

(4) 対処すべき課題

■新中期経営計画（平成32年6月期までの3カ年）

- ▶ 真空技術の総合利用と装置・材料・成膜加工・分析・サービスのシナジー効果の最大化やグローバルなビジネスパートナーとの連携により、高い収益性の企業経営を進めます。
- ▶ 次の飛躍のための人づくり、果敢に挑戦する企業文化構築を推進してまいります。

■新中期経営計画

具体的な取り組み

▶経営基盤の強化

①人財の育成【事業推進力アップ】

- ・ 次世代経営幹部の育成
- ・ グローバルな人財登用・育成

②グループ連携の深化【ものづくり力アップ】

- ・ グローバルな開発・調達・生産体制の強化とコストダウン
- ・ 研究開発投資の拡大（3年間で500億円程度）
- ・ グローバル市場・技術戦略の加速

③情報基盤の整備【状況判断力アップ】

- ・ ITの活用による情報収集・管理の効率向上

④財務体質の強化【成長投資力アップ】

- ・ 自己資本比率改善等の財務体質の更なる強化

(4) 対処すべき課題

■新中期経営計画

▶重点戦略

①成長事業の推進

- ・ F P D 事業の盤石化
- ・ 半導体・電子機器事業の強化
- ・ グローバル展開による事業成長の推進

②価値創造力の向上

- ・ マーケティング強化と独創的な技術・商品開発
- ・ グローバルな調達・生産体制強化とコストダウン

平成32年6月期数値目標

売上高2,500億円

営業利益350億円

営業利益率14%

**株主の皆様におかれましては、今後とも
引き続き格別のご理解とご支援を賜り
ますようお願い申し上げます。**

招集ご通知12～14ページ

- (5) 主要な事業内容**
- (6) 主要な営業所及び工場**
- (7) 使用人の状況**
- (8) 主要な借入先の状況**

2. 会社の現況

- ・株式の状況
- ・新株予約権等の状況
- ・会社役員の状況
- ・会計監査人の状況
- ・業務の適正を確保するための体制
及び当該体制の運用状況

連結計算書類

招集ご通知28～30ページをご覧ください。

計算書類（当社単体）

招集ご通知31～33ページをご覧ください。

連結計算書類

	第112期	第113期	増減
流動資産	1,436	1,697	261
固定資産	759	756	△ 3
有形固定資産	604	603	△ 1
無形固定資産	39	36	△ 3
投資その他の資産	117	117	1
資産合計	2,196	2,453	257

【単位：億円】

【記載された金額は四捨五入しておりますので各項目の合計値が一致しない場合があります。】

資産の部：主要な変動要因

- ◆現金及び預金：107億円増加
- ◆受取手形及び売掛金：126億円増加

【単位：億円】

	第112期	第113期	増減
負債合計	1,415	1,404	△ 11
流動負債	1,062	1,160	98
固定負債	354	244	△ 109
純資産合計	780	1,049	269
負債純資産合計	2,196	2,453	257

【記載された金額は四捨五入しておりますので各項目の合計値が一致しない場合があります。】

負債の部：主要な変動要因

◆短期借入金	：	93億円減少
◆長期借入金	：	107億円減少
◆支払手形及び買掛金	：	135億円増加

純資産の部：主要な変動要因

◆利益剰余金	：	230億円増加
◆その他の包括利益累計額	：	37億円増加

【単位：億円】

	第112期	第113期	増 減
売上高	1,924	2,318	+394
営業利益	179	295	+116
経常利益	184	297	+113
親会社株主に帰属する当期純利益	167	245	+78

招集ご通知**30ページ**

連結株主資本等変動計算書 について

計算書類（当社単体）

計算書類（当社単体）

貸借対照表

招集ご通知31ページ

	第112期	第113期	増減
（資産の部）			
流動資産	848	1,080	232
固定資産	653	644	△ 9
資産合計	1,501	1,724	223
（負債の部）			
流動負債	794	956	162
固定負債	239	135	△ 104
負債合計	1,033	1,091	58
（純資産の部）			
株主資本	467	629	162
評価・換算差額等	1	5	3
純資産合計	468	633	166
負債純資産合計	1,501	1,724	223

【単位：億円】



【記載された金額は四捨五入しておりますので各項目の合計値が一致しない場合があります。】

招集ご通知**32ページ**

	第113期	【単位：億円】
売上高	1,379	
営業利益	146	
経常利益	186	
当期純利益	180	

株主資本等変動計算書 （当社単体） について

議案の上程

第1号議案 剰余金の処分の件

招集ご通知**40ページ**

■配当基本方針

- ▶ 株主の皆様への利益配分を最も重要な政策の一つと認識しております。
- ▶ 設備投資動向の変動・技術革新の著しい業界にあり、当社は更なる研究開発投資や財務基盤の強化に必要な内部留保の充実を図っていく所存です。
- ▶ 株主の皆様への利益配当につきましては、こうした財務基盤の状況や各年度の連結業績及び配当性向等を総合的に勘案し、実施していくことを基本方針としております。

第1号議案 剰余金の処分の件

■期末配当

前期に比べ20円増配し、
1株につき金50円といたしたいと存じます。

第2号議案 取締役8名選任の件

招集ご通知41～48ページ

[取締役候補者（8名）]

おびなた	ひさはる	みはやし	あきら	
小日向	久治	御林	彰	(社外取締役)
いわした	せつお	うちだ	のりお	
岩下	節生	内田	憲男	(社外取締役) (独立役員)
ぼう	あきのり	いしだ	こうぞう	
坊	昭範	石田	耕三	(社外取締役) (独立役員)
もとよし	みつる			
本吉	光			
ふじやま	じゅんき			
藤山	潤樹			

◆指名報酬等委員会への諮問手続きを経ております。

第3号議案 監査役1名選任の件

招集ご通知49ページ

[監査役候補者（1名）]

うつのみや

いさお

宇都宮 功

（社外監査役）（独立役員）

◆監査役会の同意を得ております。

第4号議案 補欠監査役1名選任の件

招集ご通知**50～51ページ**

[補欠監査役候補者（1名）]

のなか

たかお

野中 孝男

（補欠社外監査役）（独立役員）

◆監査役会の同意を得ております。

報告事項、決議事項の 質疑応答

「一問一答方式」
をお願いいたします

第 1 号議案 剰余金の処分の件

第 2 号議案 取締役8名選任の件

第 3 号議案 監査役 1 名選任の件

第 4 号議案 補欠監査役 1 名選任の件

本日は、まことに ありがとうございました。

ULVAC

◆ 将来見通しに関する記述についての注意事項

このプレゼンテーション資料で述べられている将来の当社に関する見通しは、現時点で知りうる情報をもとに作成されたものです。当社グループのお客様であるフラットパネルディスプレイ（FPD）・半導体・太陽電池・電子部品などの業界は技術革新のスピードが大変速く、競争の激しい業界です。

また、世界経済、為替レートの変動、FPD・半導体・電子部品・原材料などの市況、設備投資の動向など、当社グループの業績に直接的・間接的に影響を与える様々な外部要因があります。したがって、実際の売上高および利益は、このプレゼンテーション資料に記載されている予想数値とは大きく異なる可能性があることをご承知おきください。